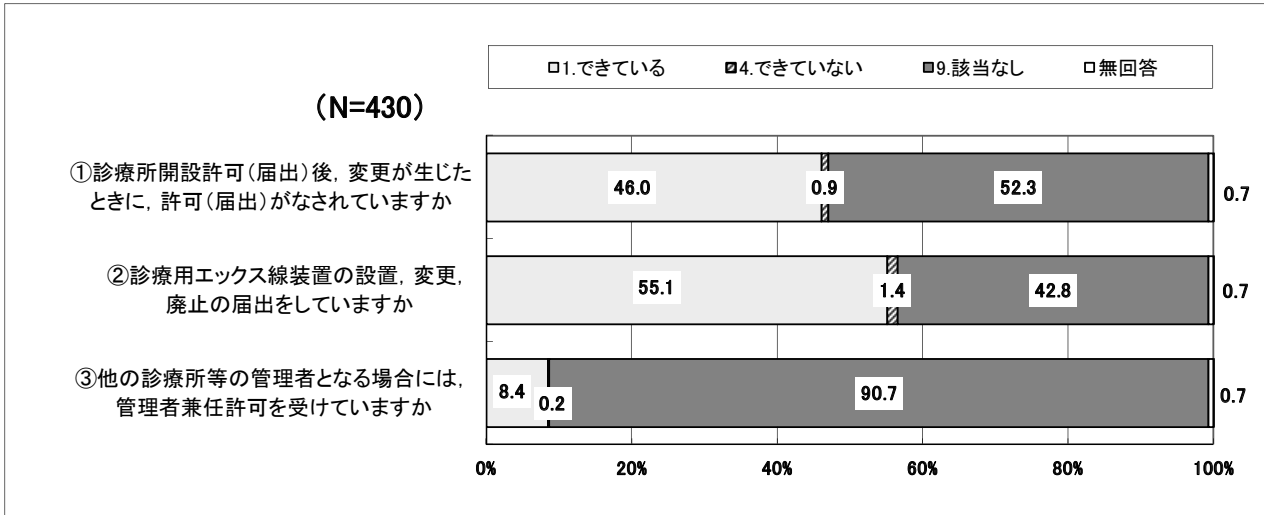


# 歯科診療所自主点検結果

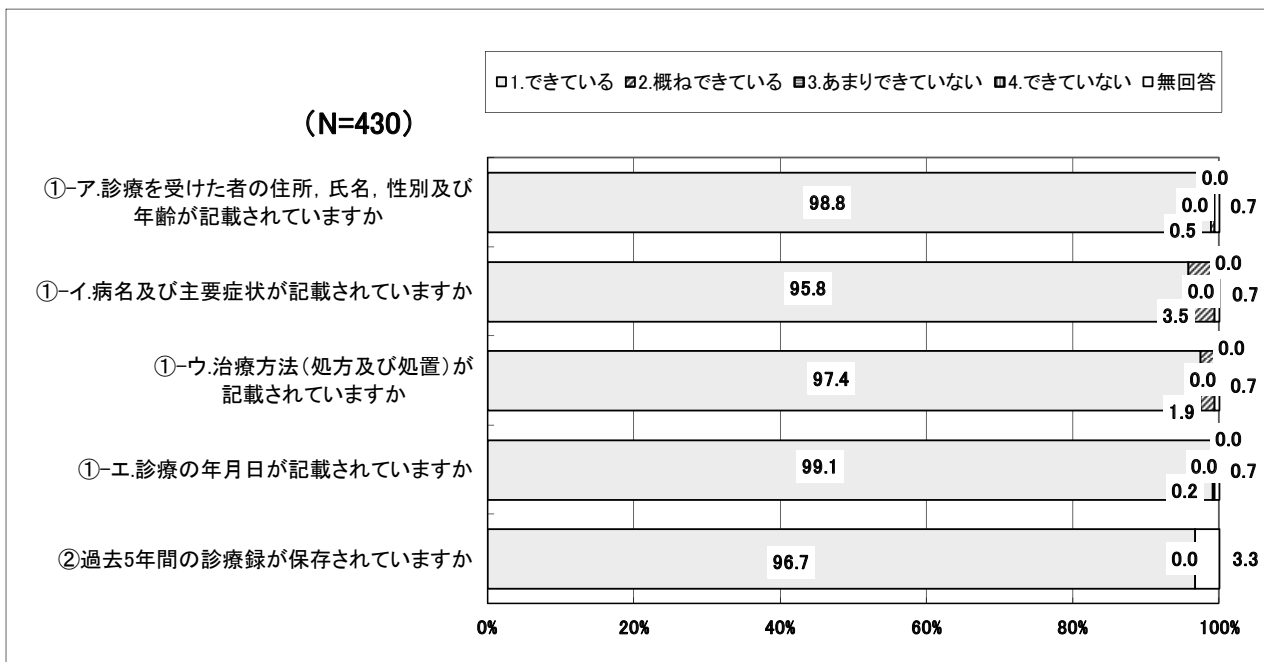
歯科診療所について、回答項目ごとに集計した比率を以下に示します。（Nは回答者数を表す。）

## 1. 総括・管理関係について

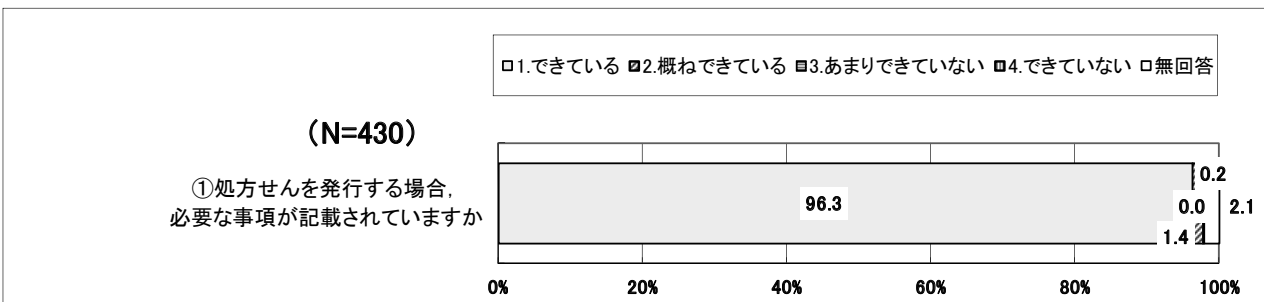
### 【1-1】医療法の手続き



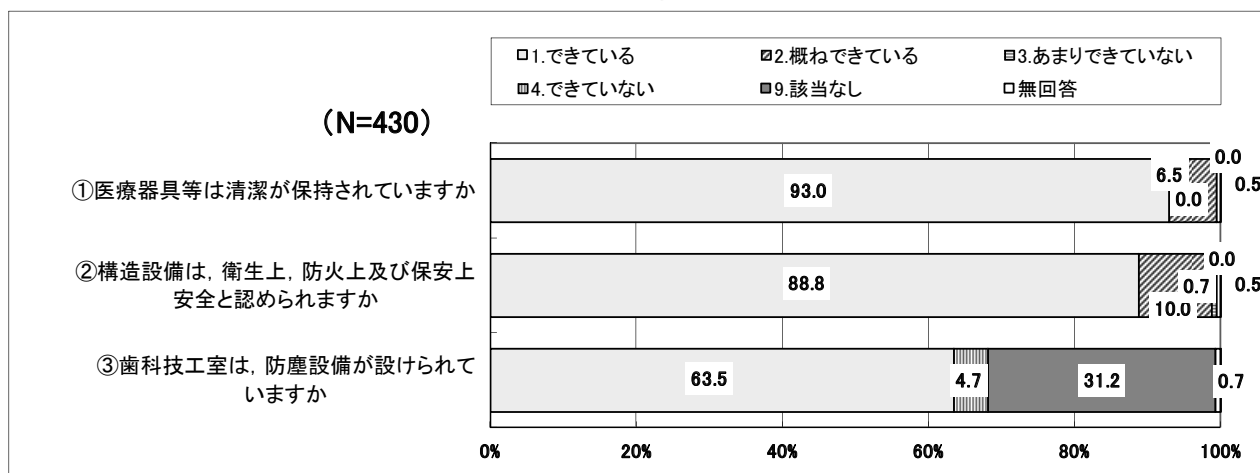
### 【1-2】診療録の保管管理



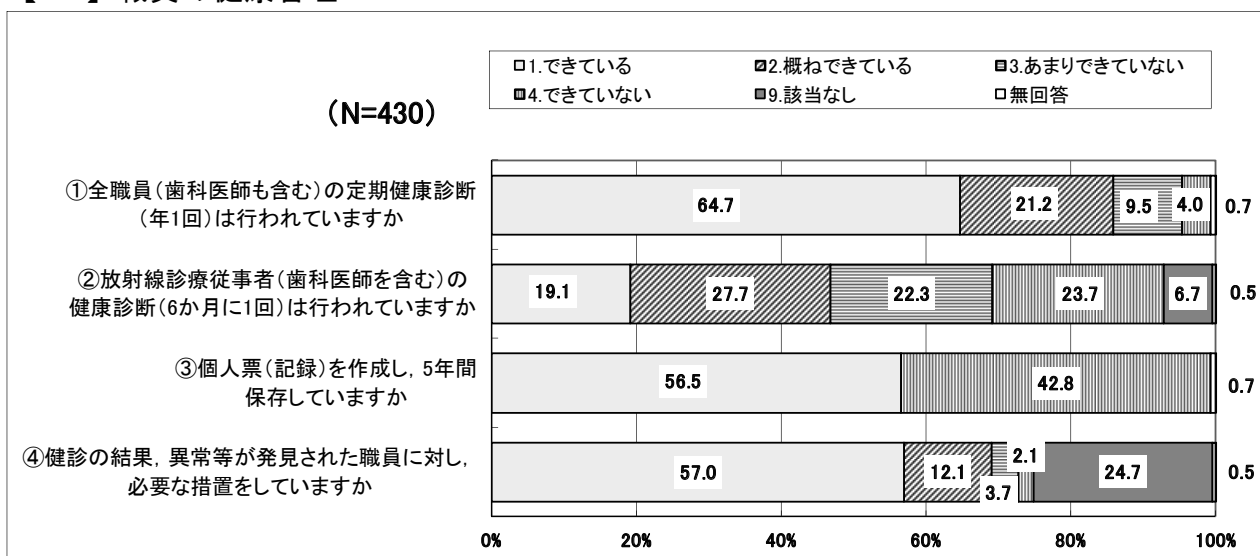
### 【1-3】診療に関する諸記録の整理保管



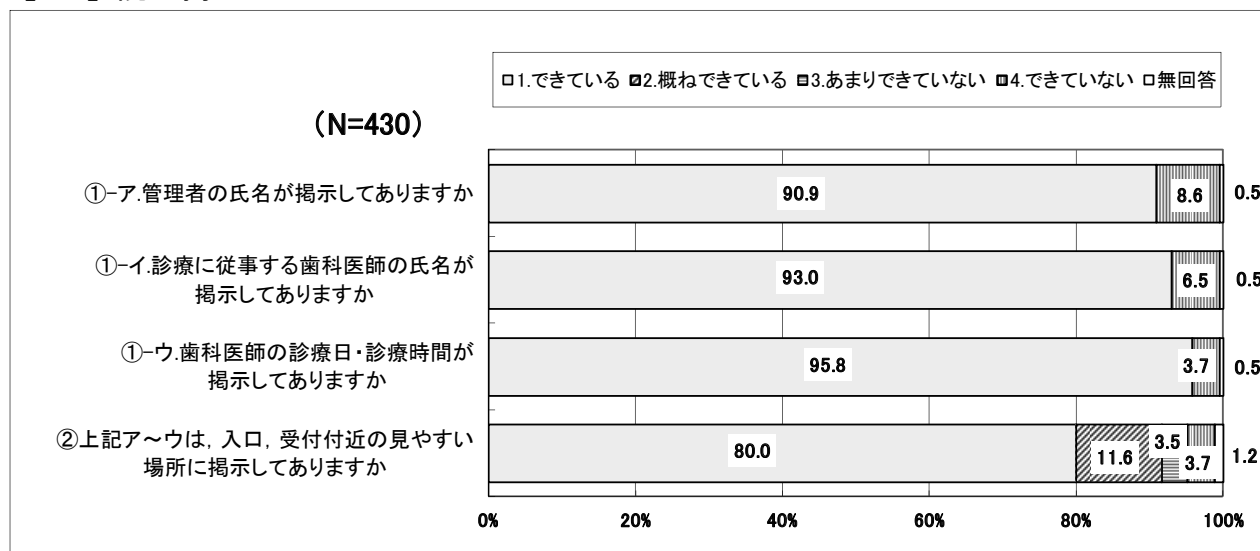
### 【1-4】 医療器具等の清潔保持及び維持管理・構造設備



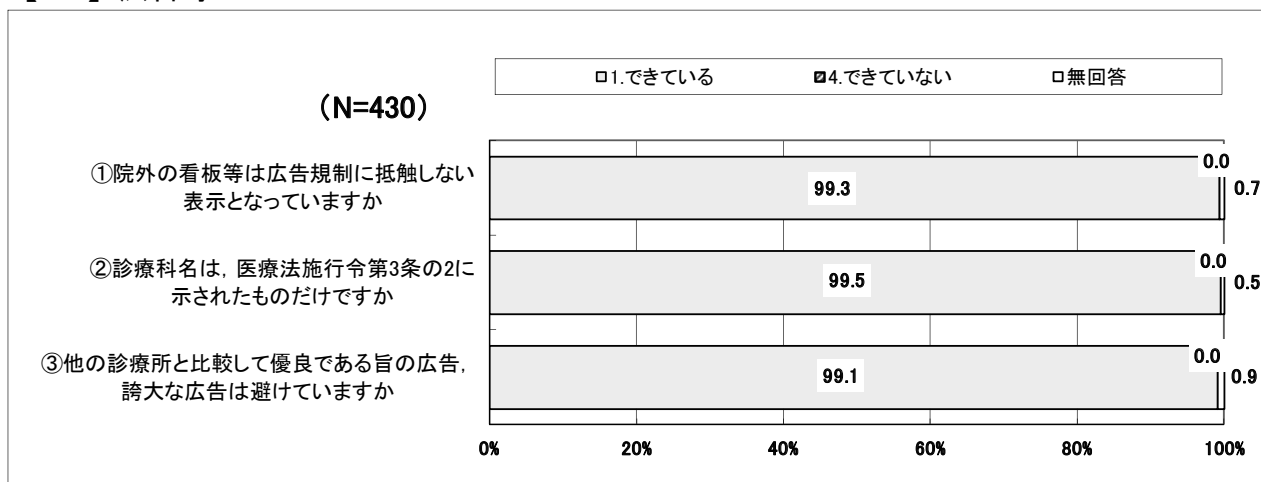
### 【1-5】 職員の健康管理



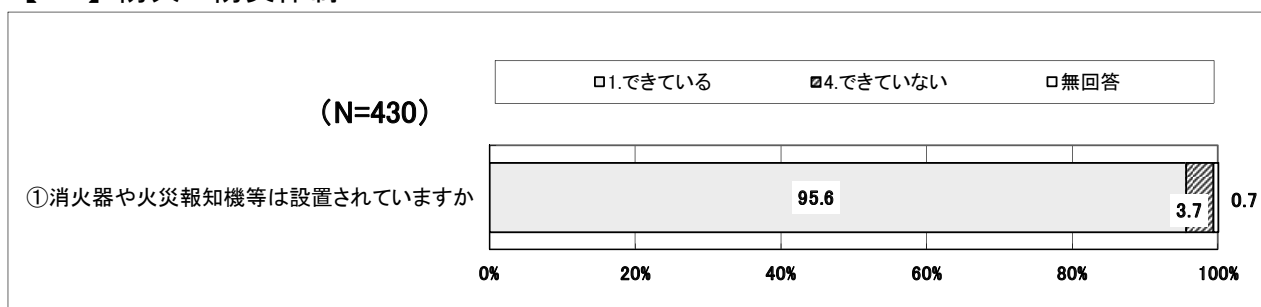
### 【1-6】 院内掲示



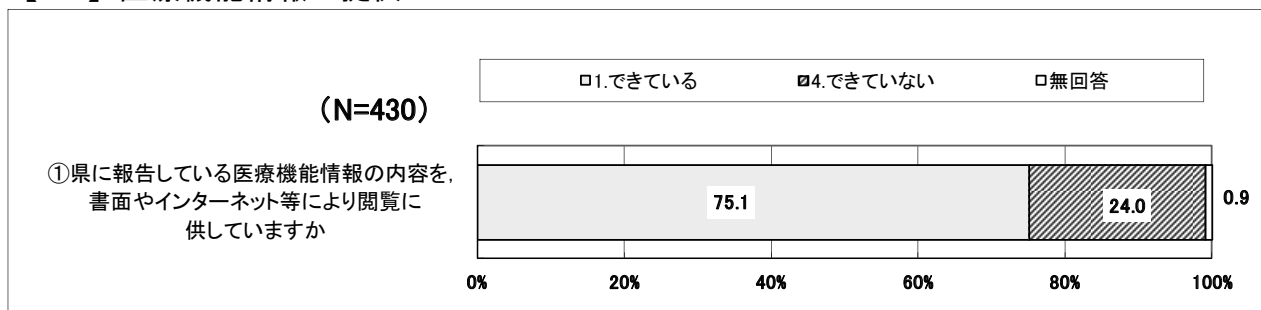
### 【1-7】 広告等



### 【1-8】 防火・防災体制

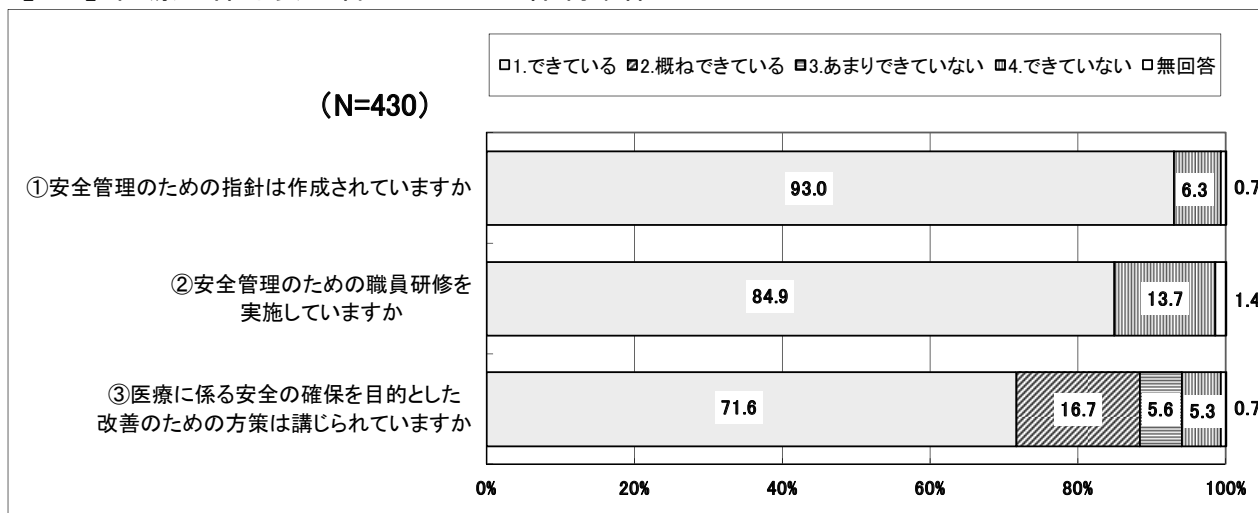


### 【1-9】 医療機能情報の提供

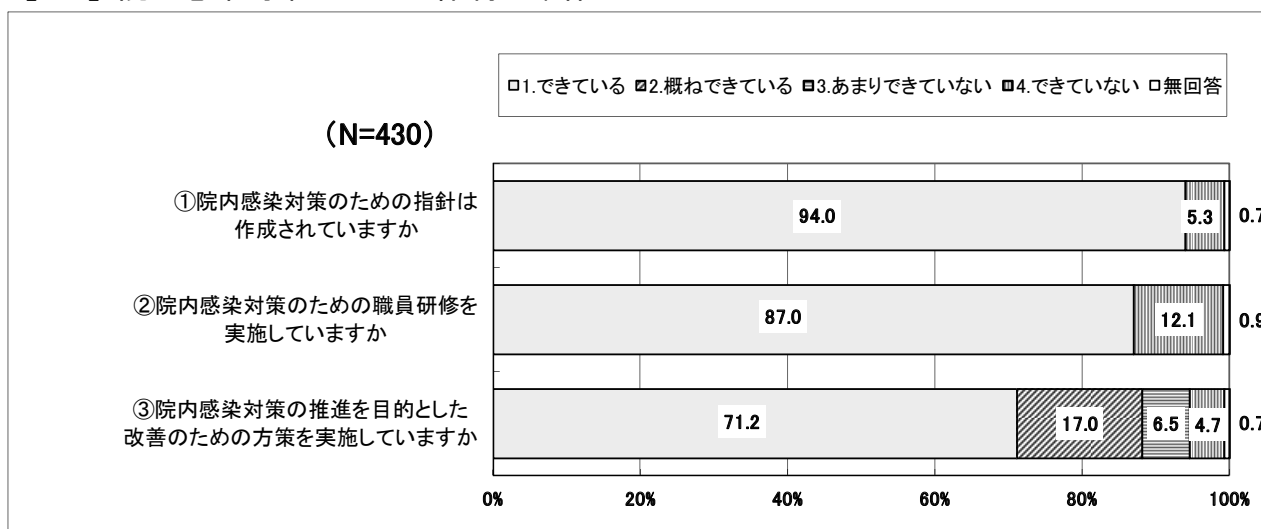


## 2. 安全管理関係について

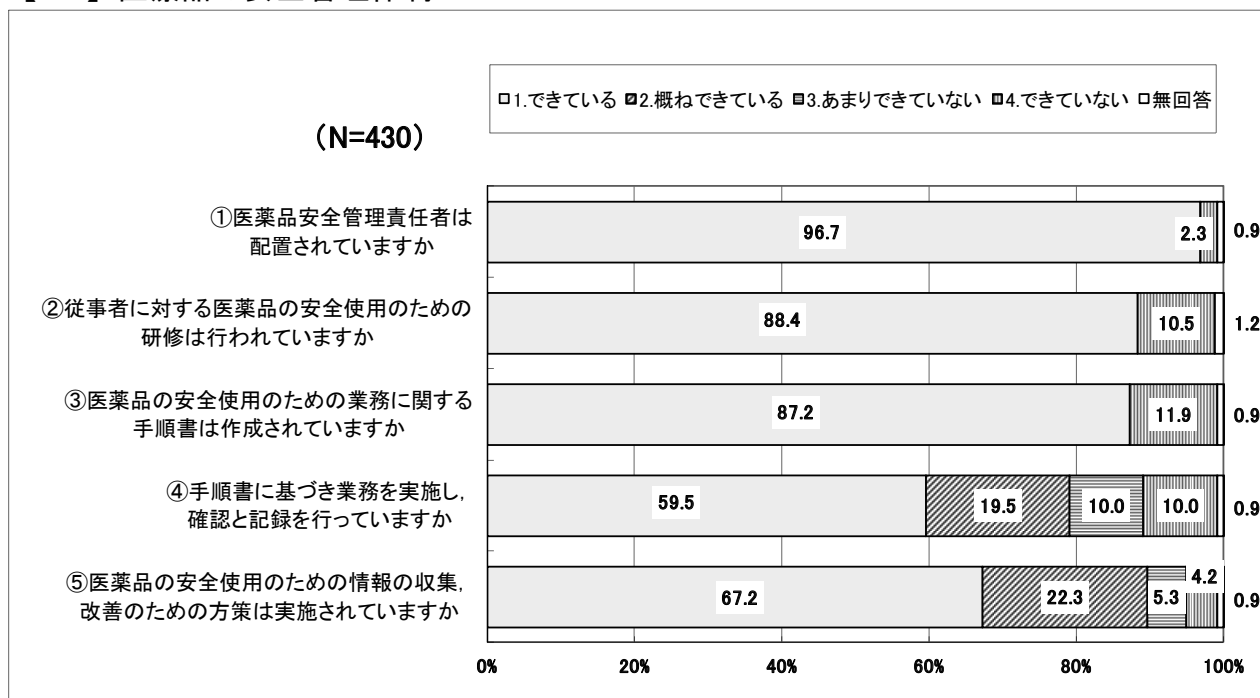
### 【2-1】医療に係る安全管理のための体制確保



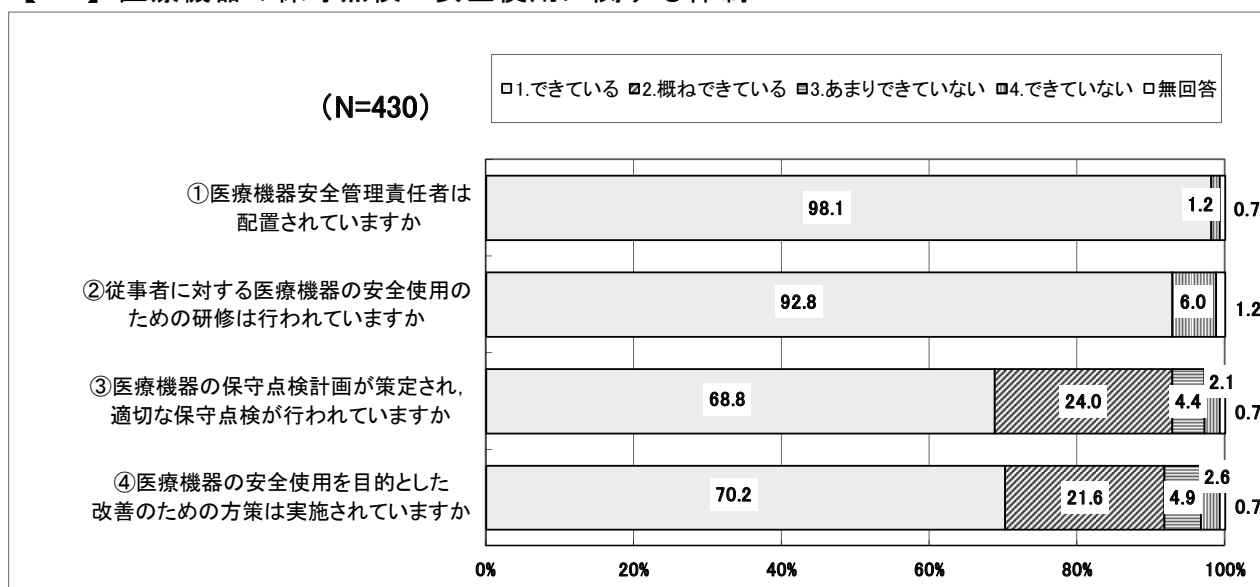
### 【2-2】院内感染対策のための体制の確保



## 【2-3】 医療品の安全管理体制

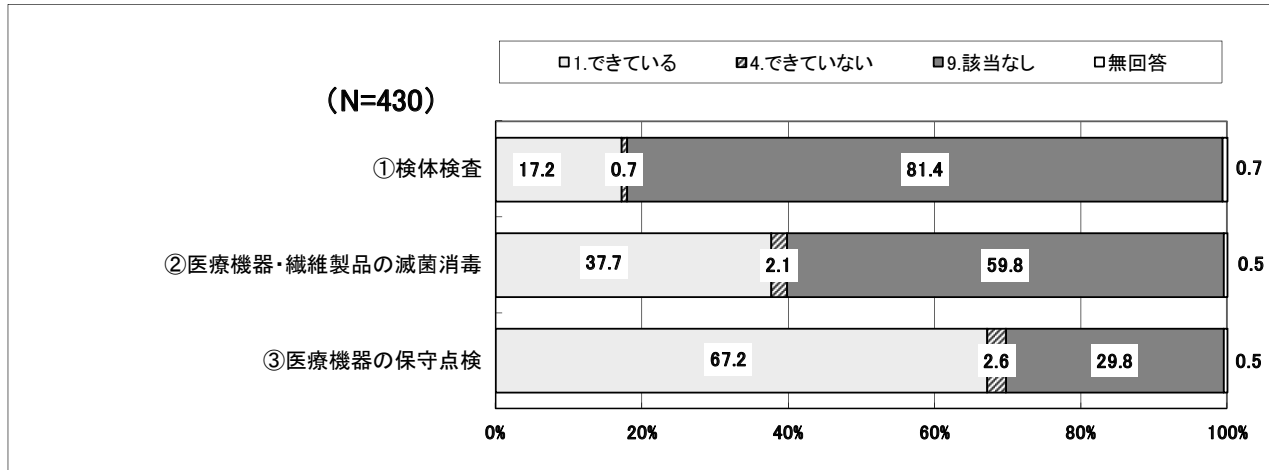


## 【2-4】 医療機器の保守点検・安全使用に関する体制



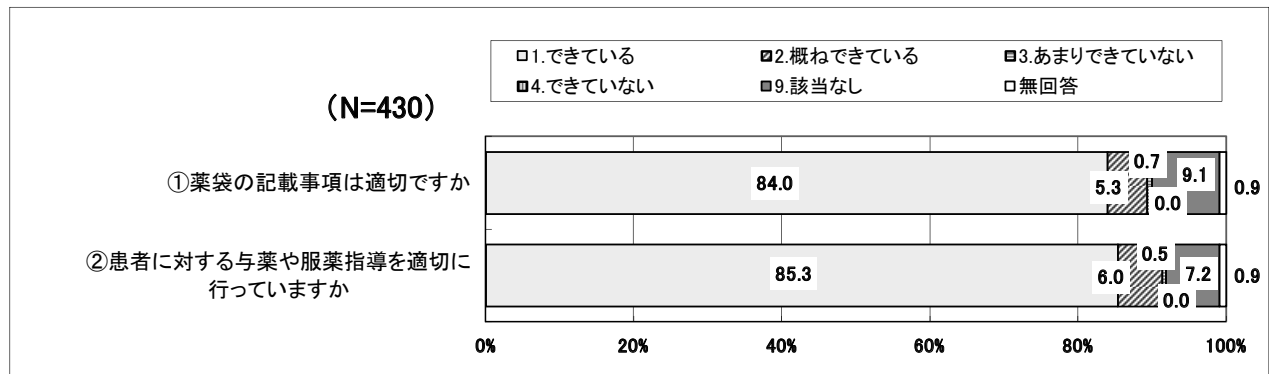
### 3. 業務委託関係について

診療業務に著しい影響を与える以下の業務を委託する場合、医療法施行規則に定める基準に適合する者に委託していますか。また、有効な契約書が備えられていますか。



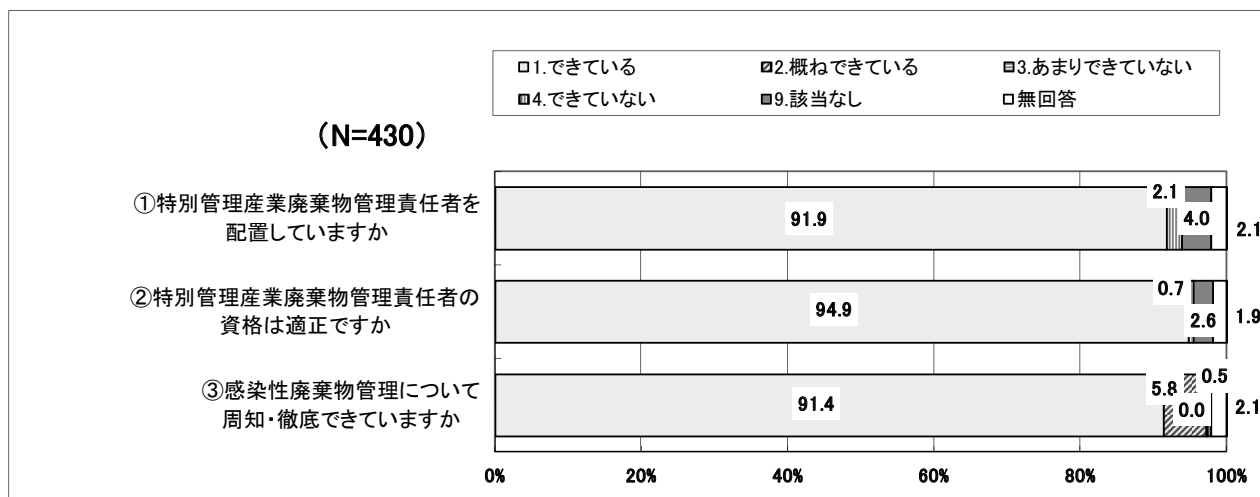
### 4. 医薬品関係（院内処方のみ）について

#### 【4-1】薬剤の交付

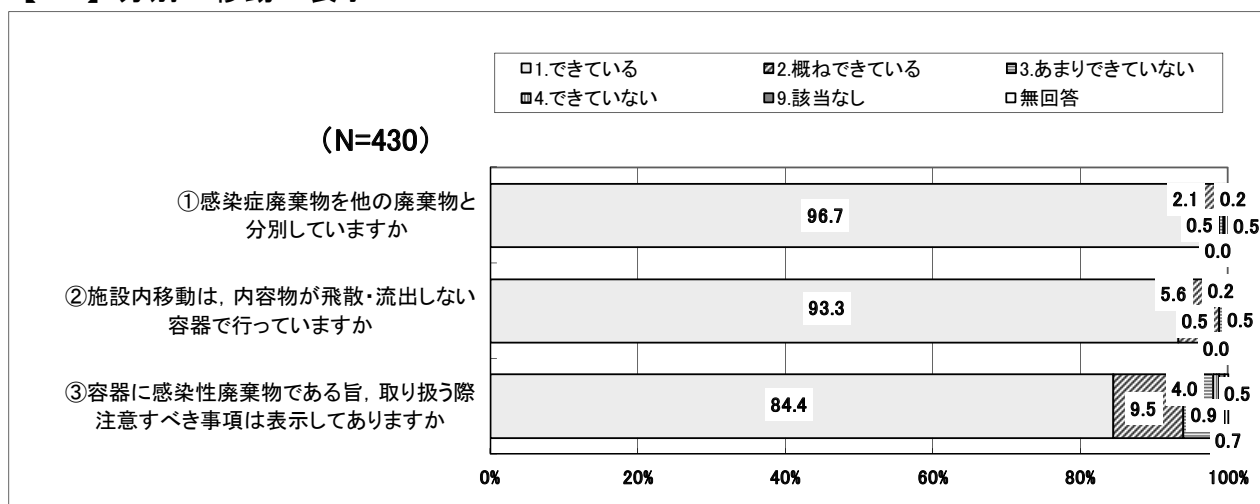


## 5. 廃棄物関係について（廃棄物の処理及び清掃に関する法律参照）

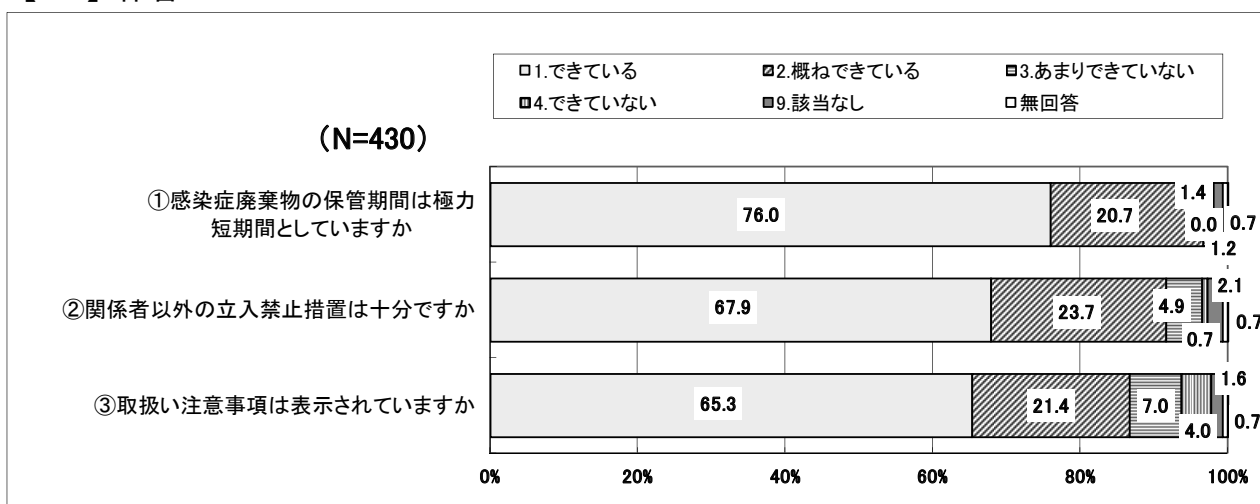
### 【5-1】管理体制



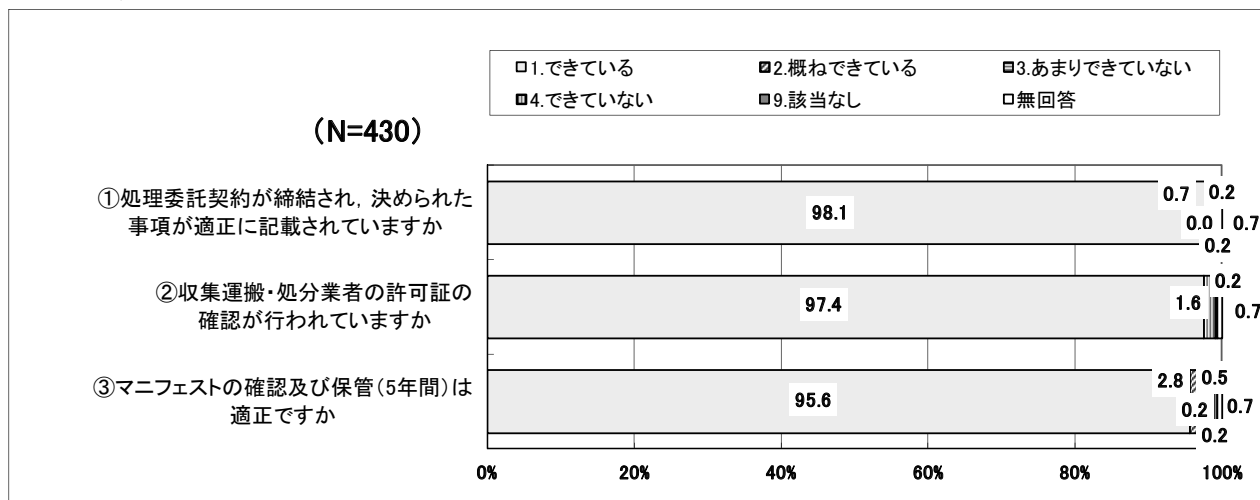
### 【5-2】分別・移動・表示



### 【5-3】保管



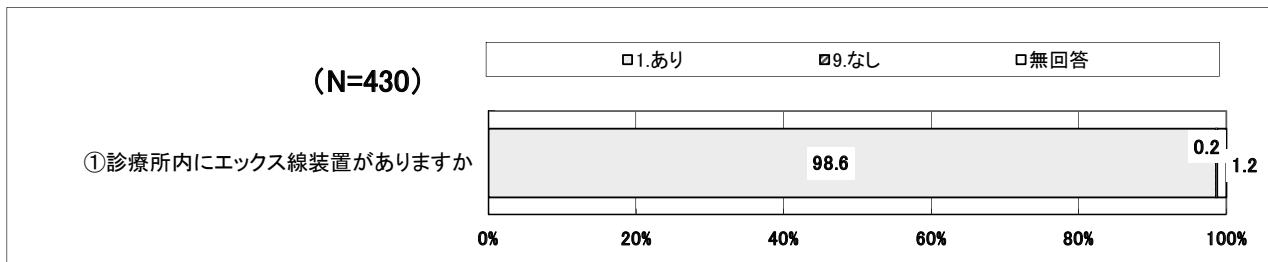
【5-4】 契約関係



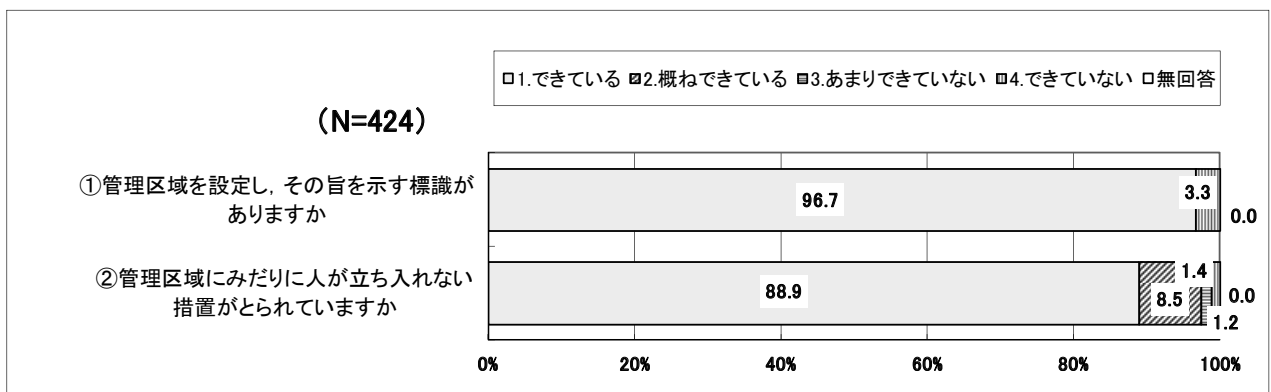


## 6. 放射線関係について

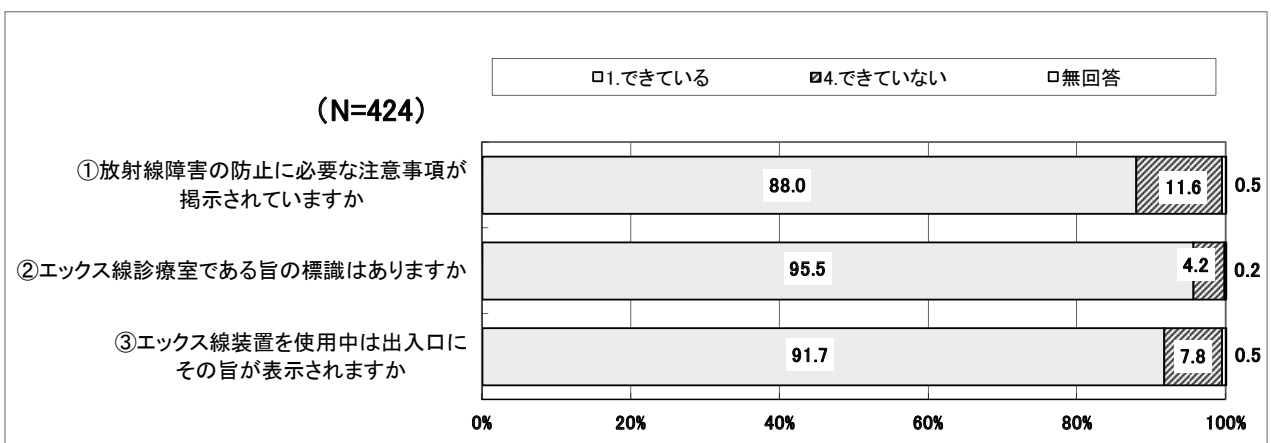
### 【6-0】 エックス線装置の有無



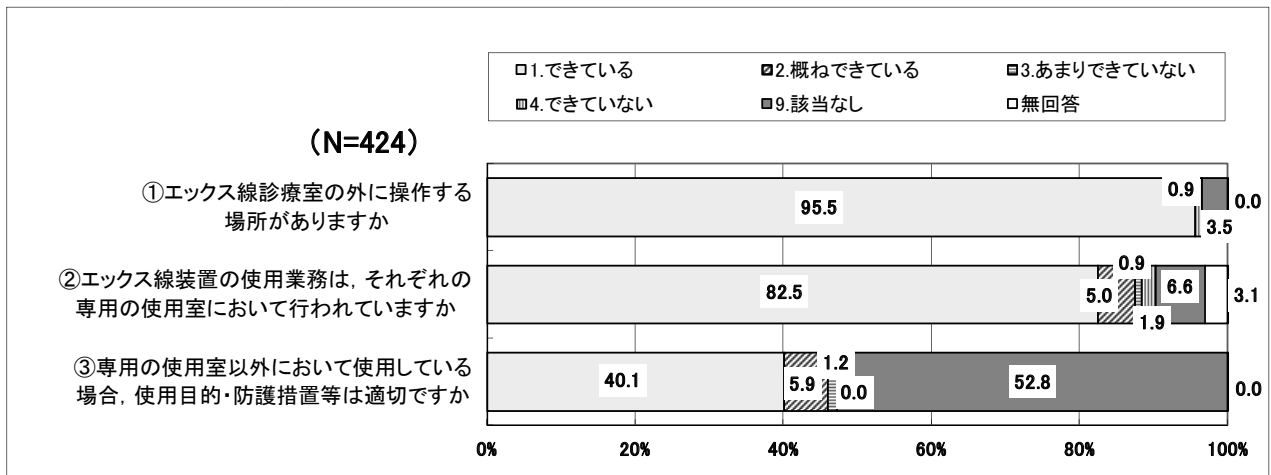
### 【6-1】 管理区域



### 【6-2】 掲示・標識等

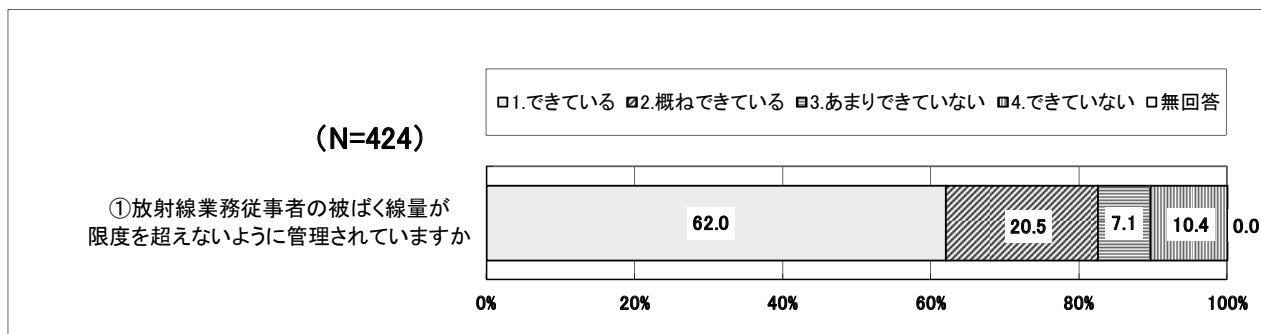


### 【6-3】 使用場所の構造・制限等

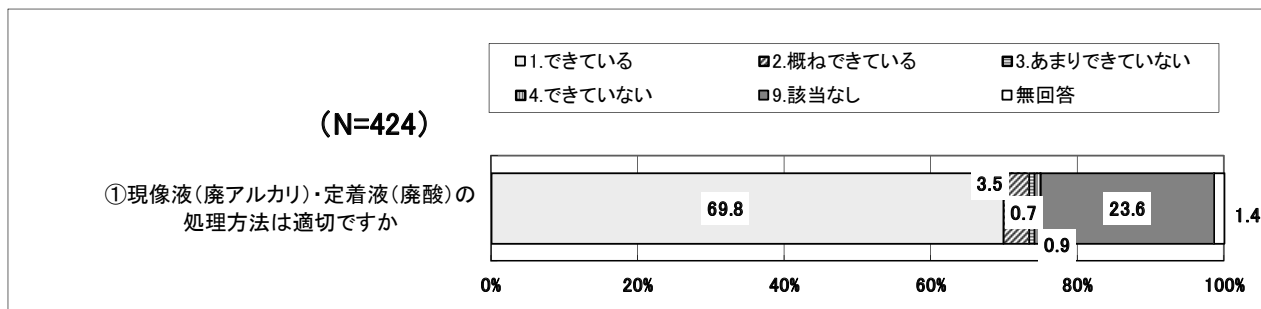


※②の該当なしは、診療室を使用する特例の場合等

【6-4】 従事者の被ばく防止の措置



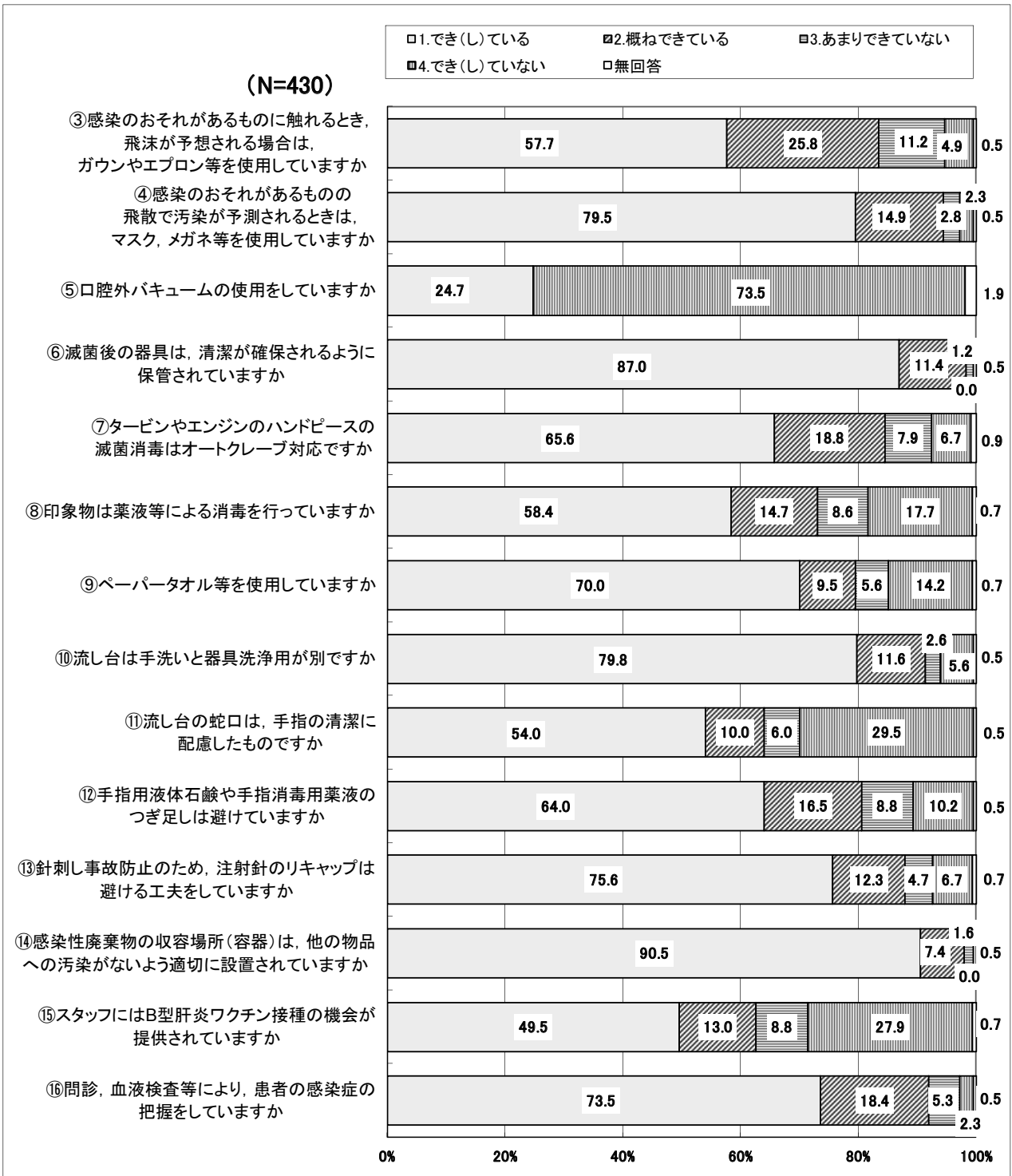
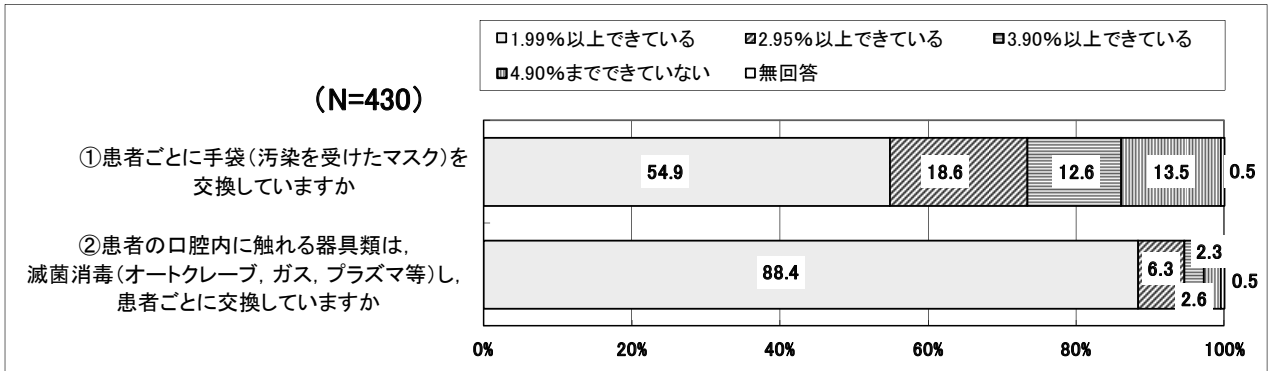
【6-5】 廃液の処理



※該当なしはデジタル対応の場合等

## 7. 歯科診療について

### 【7】 歯科診療室の管理

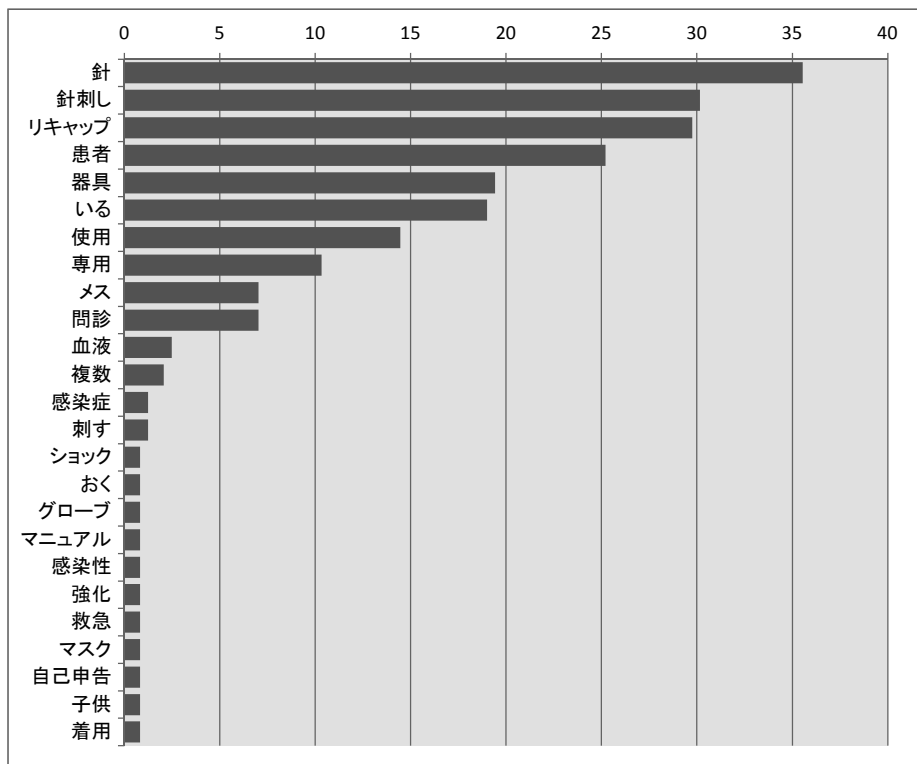


## 8. その他

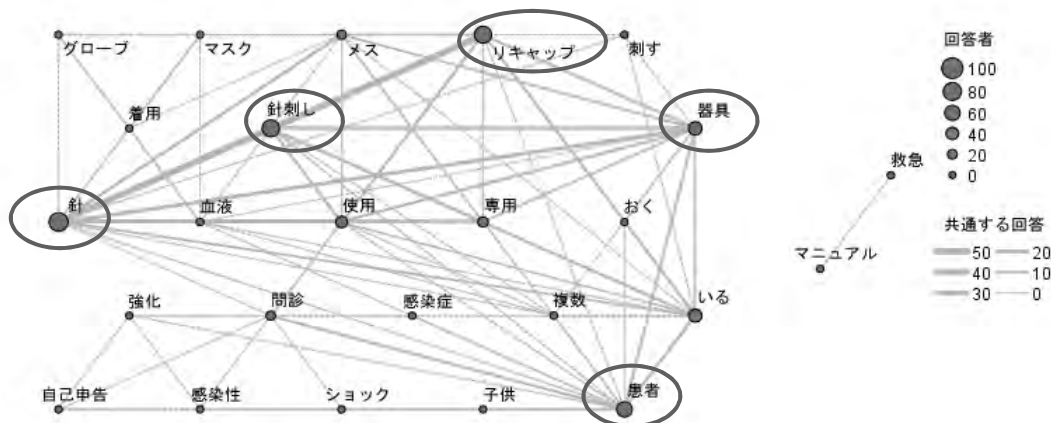
Q8-①. 診療所内でどういふこと（行為）が危ないと考えていますか。  
また、それにどう対処していますか。

<単語ランキング>

| 単語    | 件数 | %    |
|-------|----|------|
| 針     | 86 | 35.5 |
| 針刺し   | 73 | 30.2 |
| リキャップ | 72 | 29.8 |
| 患者    | 61 | 25.2 |
| 器具    | 47 | 19.4 |
| いる    | 46 | 19.0 |
| 使用    | 35 | 14.5 |
| 専用    | 25 | 10.3 |
| メス    | 17 | 7.0  |
| 問診    | 17 | 7.0  |
| 血液    | 6  | 2.5  |
| 複数    | 5  | 2.1  |
| 感染症   | 3  | 1.2  |
| 刺す    | 3  | 1.2  |
| ショック  | 2  | 0.8  |
| おく    | 2  | 0.8  |
| グローブ  | 2  | 0.8  |
| マニュアル | 2  | 0.8  |
| 感染性   | 2  | 0.8  |
| 強化    | 2  | 0.8  |
| 救急    | 2  | 0.8  |
| マスク   | 2  | 0.8  |
| 自己申告  | 2  | 0.8  |
| 子供    | 2  | 0.8  |
| 着用    | 2  | 0.8  |



<共起性> (同時に出現する単語)



■ 「リキャップ」「針刺し」「器具」「針」「患者」

上記が共起性の高いキーワード (同時に出現する単語) となっております。

この設問に対し、回答欄に記述のあったのは、430件中332件 (回答率77.2%) でした。これらをテキストマイニングした結果、回答欄に最も多く出てきた単語は「針」(86件)であり、次いで「針刺し」(73件)、「リキャップ」(72件)と続きました。

これらのことから、注射針の取扱いや針刺し事故、使用後の針を廃棄する際のリキャップについて、危機意識を持つ歯科診療所が多いという傾向が読み取れます。

**Q8-①: 回答例を紹介します。**

- エンジンやタービンなどによる患部以外の損傷。充分にアシストをしてもらい事前に危険性をあらためて確認してから使うようにしている。
- バキュームの吸引力が悪くなるなど、器具の点検を怠ると患者をケガさせる。毎日終了後に点検。
- 薬液の使用ミス。薬液を取り扱う時には3回確認して使用するよう指導している。
- 各種コードにひっかかること。その都度危険性について声を掛けている。
- 子供さんが診療室内で動き回って目の届かないところで器具に触れること。行動を監視している。
- 馴れによる診療行為及び怠慢な行為。緊張感の継続の意識。
- メス、注射針等鋭利な器具による手指の損傷。専用の取りはずし用具の使用。感染者の場合は、すぐに報告してもらおうよう指示している。
- 注射針のリキャップや替刃メスを外すときの針刺し事故。リキャップは極力行わず、行うときはワンハンドテクニックで行う。替刃メスは手で外さず、専用器具を用いている。
- 麻酔等疼痛によるショックになること。生死に関わる場合があるので、事前に問診を十分行い、必要な場合には岡大病院等を紹介する。
- 患者の体調管理把握のため、バイタルサインを確認している。針さし事故防止のため、針取り器を用いている。
- CK等の装着時及び根管処置の際、誤えん防止の為、口腔内に少量の水を含んでもらい鼻呼吸で処置をしている。
- 患者の既往歴（肝炎、骨そそしょう症、出血傾向の有無等）を十分聞き、それに対して注意深く対処すること。
- 注射針の針さしや器具による傷など。注射針やメス専用の焼棄ケースを使用するようにしている。
- インレー等試適時の誤飲。患者の体位を起こす。患者に口呼吸しない様注意を促す。
- 忙しく余裕がない時にミスや事故が起こりやすいので、予約を工夫し余裕を持った治療を行うこと。“ほうれんそう（報連相）”を徹底して、統一した意識を持つ。
- スタッフが指示無く勝手に対応すること。常に指示を受けてから行動し、分からないことは必ず聞いてから対応するよう指導。
- 忙しくなった時、器具の取り扱い等の行動が雑になる。一呼吸おいて行動する。患者さんにはお待ち頂くよう一声かけている。
- 飛沫感染の危険性。防止のためゴーグルの着用を徹底。
- 加療時の誤嚥やショックをひき起こすような行為。救急時のマニュアルを作成。
- 抜歯、切開等出血を伴う外科処置、根管治療時のリーマーファイルの気管内、胃内への脱落。充分集中し注意をする。
- 危険を伴う器具を使用することが多いので、気をつけるようにしている。声掛けや受け渡しの訓練をしている。
- 浸麻針の扱いが最も危ない。リキャップはシングルハンド、浸麻は一度で終わるよう十分量

を使用する。

- 全身疾患患者の治療時の偶発症。診療前の状態（血圧等）の確認。
- 器具等の誤嚥→対処、立位での治療等の指示。
- 衣服、顔面への薬液等の飛散。口腔外バキュームの使用。Face Cover（タオル）を行い、器具等の手渡しは、絶対に患者さんの頭上で行わないようにしている。
- リキャップ時や、サーマーの清掃時が危険だと思うので注意している
- 感染の可能性の有る患者様を、問診時に聞き逃さないようにしている。それがわかれば、カルテ等に注意する旨を書いている。
- 複数の患者を治療する場合、1人だけで、治療台で待たせている時、常に注意している。
- 高齢者の患者が多いので、待合からチェアーへの移動中の転倒が危険。スタッフが付き添って誘導するようにしている。
- 補綴物の試適等行なう際に誤飲しないよう、ガーゼや顔を傾ける等の工夫をするようにしている。
- 消毒後、根管貼薬液等薬液の取り扱い。患者の顔より下で扱い、露出部がないようエプロンで被っている。
- 注射針のリキャップ時の針刺し、鋭利な器具、温度の高い器具を使う時に患者の口腔内を傷つけること。注射針は、片手法などで早く処理をする。器具は慎重に扱う。
- 器具・薬品に対する周知がなされていない場合、誤った使用により事故が発生するので、職員合同説明会を開催する。
- 注射針の針刺し事故。使用後のファイル、ダイヤモンドバーなどの刺傷事故などが危険。当院では注射針のリキャップ方法、ファイル、ダイヤモンドバーなどの消毒操作方法来に気をつけている。
- 矯正歯科専門で診療を行っており、矯正用ワイヤーを多く使用しているため、ワイヤーの切断端で手指を傷つける可能性がある。切断時、適切なカッターを使用することが重要。
- 患者さんの情報（全身疾患等）に変化があった時、自分だけで情報を囲い込むことがないよう、口頭及びカルテに記入して情報を共有するようにしている。
- 治療中、ずっと目を開けている患者さんがいること。目を閉じてもらうよう頼んだり、目をガードしたり、目の上に物が来ないようにしている。
- 歯科では常に唾液や血液に接触する危険性があるため、グローブ、マスク、ゴーグル等の着用を必ず行っている。
- 肝炎患者からの模型や処置器具等からの感染が危惧される。滅菌、消毒を確実に行う。
- 患者が引き起こすショック、特にアナフィラキシー・ショックが危険と考える。患者への十分な問診と、気配りを怠らないように常に気を付けている。
- インレー、冠等の誤飲、誤嚥。調整時は口腔内の奥にガーゼを敷いて落下防止を図る。
- ハンドピースにバー類、リーマー類を付けっぱなしにしていると危険。使用後は速やかに外すようにしている。
- 冠試適の際、患者の口腔内に落下しそうになることがある。この場合必ず専用のあみかごで防ぐようにしている。

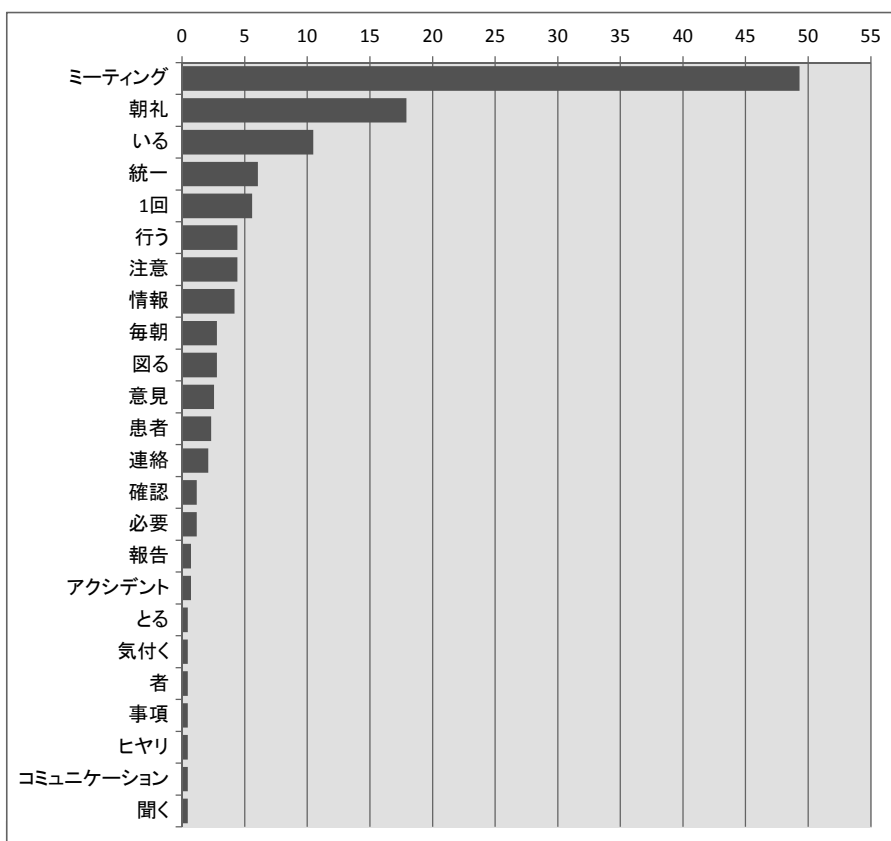
- HBV、HCV、HIV等感染症に注意し、注射針の取り扱いやオートクレーブによる器具の消毒に力を入れている。
- 印象採得時の印象材の誤飲。必ず患者さんを起こした状態で作業する。口腔内清掃やスクレーリング時のフリーハンドによる作業。
- さまざまな全身疾患を有する患者について、病態を知らずに診療することが危険。問診の徹底。
- 局所麻酔時、スタッフの手がチェアの操作板に触れ突然チェアが動き出した事があったため、自分でバキューム等するようにしている。
- 子供と一緒にの患者には、待合室で待機させるのではなく、診療室内に一緒に入ってもらい注意深く見守りながら診療を行う。
- 診療行為では浸潤麻酔、伝導麻酔による抜歯、抜歯道処置に既往歴を確認して時間をかけて注意深く診療することにより、医療過誤防止を図る。
- アシスタントの補助なしに治療行為を行なうこと。気持ちがあせって、急いで治療を進めないう、なるべく余裕をもって予約をとるようにする。
- 基本トレーがワッテ、ガーゼ等で乱雑になっている時の針刺事故。一旦トレーの中を片付けてから、注射針のリキャップ等を行うよう心がけている。
- 同姓同名患者のカルテ間違いや、患者の取り違い。生年月日の確認の徹底。同姓同名患者については、カルテにその旨を記入し注意する。
- 麻酔液カートリッジの二度使用厳禁。
- 全身疾患や感染性疾患を有する患者において、問診票等への記載もれが多く把握できない場合が多い。最低必要な部分は、再度口頭で確認するようにしている。
- 血液、複数の患者を同時に治療しない。出血した場合、1人の患者にも手袋を数組使用する。カルテ等を治療途中で見る時も手袋を外し、新しい手袋に換える。



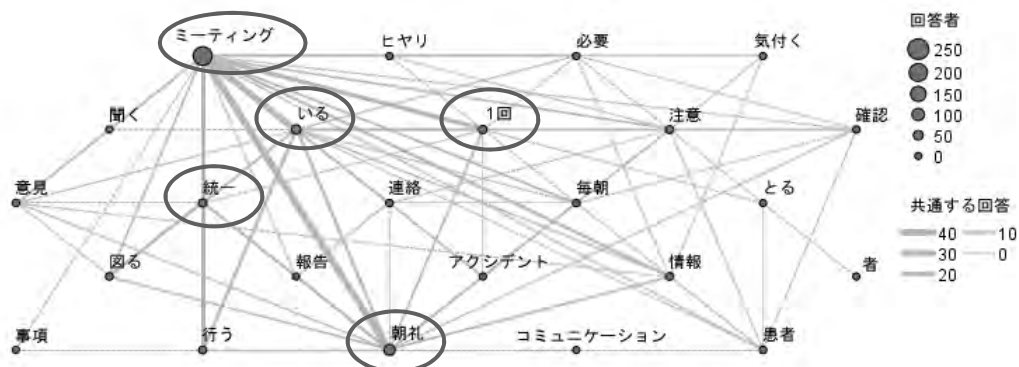
Q8-②. 職員の意志統一をどのように図っていますか。

<単語ランキング>

| 単語        | 件数  | %    |
|-----------|-----|------|
| ミーティング    | 212 | 49.3 |
| 朝礼        | 77  | 17.9 |
| いる        | 45  | 10.5 |
| 統一        | 26  | 6.0  |
| 1回        | 24  | 5.6  |
| 行う        | 19  | 4.4  |
| 注意        | 19  | 4.4  |
| 情報        | 18  | 4.2  |
| 毎朝        | 12  | 2.8  |
| 図る        | 12  | 2.8  |
| 意見        | 11  | 2.6  |
| 患者        | 10  | 2.3  |
| 連絡        | 9   | 2.1  |
| 確認        | 5   | 1.2  |
| 必要        | 5   | 1.2  |
| 報告        | 3   | 0.7  |
| アクシデント    | 3   | 0.7  |
| とる        | 2   | 0.5  |
| 気付く       | 2   | 0.5  |
| 者         | 2   | 0.5  |
| 事項        | 2   | 0.5  |
| ヒヤリ       | 2   | 0.5  |
| コミュニケーション | 2   | 0.5  |
| 聞く        | 2   | 0.5  |



<共起性> (同時に出現する単語)



■ 「ミーティング」「いる」「1回」「統一」「朝礼」  
 上記が共起性の高いキーワード (同時に出現する単語) となっております。

この設問に対し、回答欄に記述のあったのは、430件中345件 (回答率80.2%) でした。これらをテキストマイニングした結果、回答欄に最も多く出てきた単語は「ミーティング」(212件) であり、次いで「朝礼」(77件)、「いる」(45件) と続きました。

これらのことから、ミーティングや朝礼等により職員の意志統一を図っている歯科診療所が多いという傾向が読み取れます。



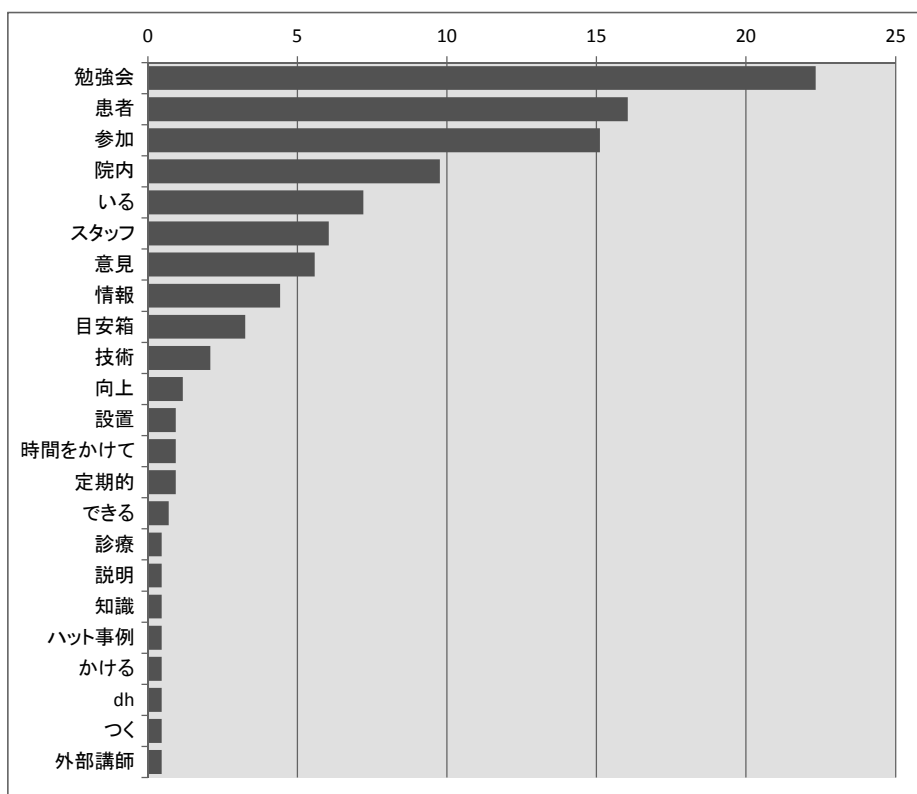
**Q8-②:回答例を紹介します。**

- ランチミーティング、夜診療後の勉強会で意志統一するよう心がけている。
- 毎朝のミーティング、ブリーフィングの実施。診療終了後の各担当部署からの報告、ヒヤリ・ハットを含めたインシデント、アクシデントの報告。
- 毎日の朝礼、終礼のほか、毎日全員ミーティングを行い、重要事項を周知徹底している。
- ミーティング等で医療安全管理に関するマニュアルの確認を行っている。滅菌法や感染防止などに関する勉強会、研修会を開催している。
- ミスなどを報告しやすい環境。ミスなどに対して個人に責任を負わせるのではなく、なぜ起きたのか、どうすれば防止できるのかを一緒に考えるようにしている。
- 注意事項等をノートに記録し、読んだ者は署名するようにしている。
- 当日来院予定の患者のカルテを前にして、処置方針や器具の準備等毎朝のミーティングを行っている。
- 毎日昼礼の際、各スタッフが安全項目に該当する事項があれば発表する。
- 毎日の診療内でのミスや気付いた点、注意された点を各自ノートに記録し、時々ミーティングを行う。
- マニフェストを作成して手順どおりの診療行為を行うことにより、意志統一を図る。
- 報告・連絡・相談が疎かにならないよう短時間のミーティングを行っている。

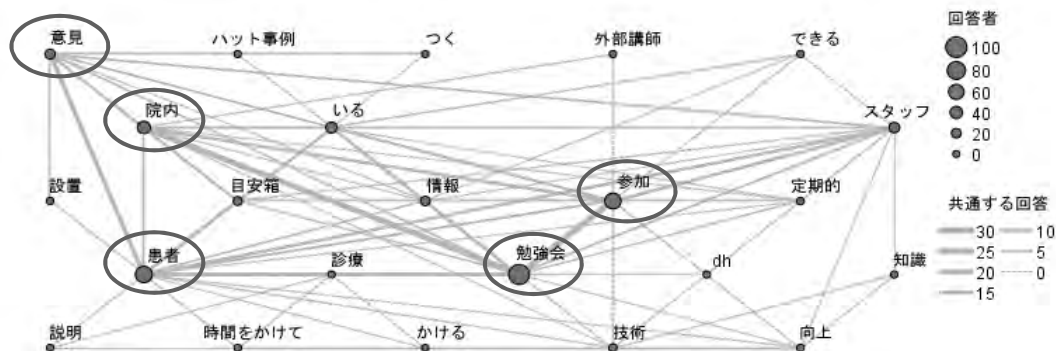
Q8-③. 医療の質の向上のために、何か工夫されていることがありますか。

<単語ランキング>

| 単語     | 件数 | %    |
|--------|----|------|
| 勉強会    | 96 | 22.3 |
| 患者     | 69 | 16.0 |
| 参加     | 65 | 15.1 |
| 院内     | 42 | 9.8  |
| いる     | 31 | 7.2  |
| スタッフ   | 26 | 6.0  |
| 意見     | 24 | 5.6  |
| 情報     | 19 | 4.4  |
| 目安箱    | 14 | 3.3  |
| 技術     | 9  | 2.1  |
| 向上     | 5  | 1.2  |
| 設置     | 4  | 0.9  |
| 時間をかけて | 4  | 0.9  |
| 定期的    | 4  | 0.9  |
| できる    | 3  | 0.7  |
| 診療     | 2  | 0.5  |
| 説明     | 2  | 0.5  |
| 知識     | 2  | 0.5  |
| ハット事例  | 2  | 0.5  |
| かける    | 2  | 0.5  |
| dh     | 2  | 0.5  |
| つく     | 2  | 0.5  |
| 外部講師   | 2  | 0.5  |



<共起性> (同時に出現する単語)



■「意見」「院内」「参加」「患者」「勉強会」  
上記が共起性の高いキーワード (同時に出現する単語) となっております。

この設問に対し、回答欄に記述のあったのは、430件中316件 (回答率73.5%) でした。これらをテキストマイニングした結果、回答欄に最も多く出てきた単語は「勉強会」 (96件) であり、次いで「患者」 (69件)、「参加」 (65件) と続きました。

これらのことから、院外・院内の勉強会へ積極的参加して新しい情報を得ることにより、医療の質向上を図ろうという歯科診療所が多いという傾向が読み取れます。

### Q8-③:回答例を紹介します。

- 定期的に患者さんにアンケート調査を行い、改善を図っている。定期的に院内勉強会を行い、院外のセミナーや学会にも積極的に参加している。
- 万全の感染対策と職員全員に対するコンプライアンスの周知徹底。治療後の患者に対してアンケートを行っている。
- 歯科医療は疼痛が伴うことが多いので、なるべく痛くないように麻酔等を工夫している。
- 歯科だけではなく、医科に関することも最新の知識を得るように努力している。
- 定期的に患者とスタッフにアンケートを行い、要望を聞き出して診療に反映させている。マニュアルを作成し、各人の技術の差がないようにしている。各種セミナーに参加し、技術、知識の向上を計っている。
- 隔週に、全員参加のミーティング、症例報告会、研修、実習を行っている。勤務1年未満の職員の新人教育。外部講師を招いての院内（実習）セミナーの実施。
- 定期的な院内研修会の開催及び院外講演会、学会等への参加。
- 使用出来るものは消毒製品を使用し、その他のものは必ず消毒する。
- 月1回、衛生士担当の患者教室を開催し、テーマを変えて情報提供を行なうとともに、患者からの意見収集を図っている。
- 患者の衛生意識向上のため、毎回治療内容の細かな説明や要望を取り入れている。
- セミナーの参加、歯学雑誌の講読、情報の交換、模型を使った練習など。
- 患者に直接不満はないか訊ねている。
- 知人の歯科医院が4つ程定期的に集まり、勉強会を行っている。
- 問題が発生した時には、早急にミーティングを開いて解決策を練り、個々の意識レベルを向上させている。
- セミナーの代金支援。院内セミナー勉強会の実施。
- デンタル、パノラマ、画像を全てデジタル化してチェアーサイドで治療方針等を説明し、患者が理解しやすいようにしている。
- 目安箱をおき、患者様の意見をいただいている。1か月に1回アンケート調査をし、職員に開示している。また、1か月に1度各部署のリーダーを集めて、ミーティングしている。
- 患者の視線をいつも意識するようスタッフに治療台に座らせ、患者の立場を経験させる。
- 患者に鏡で口腔内を見せたり、図や模型などを使用して詳しく説明している。必要があれば、すぐに岡大病院や日赤病院を紹介している。
- 待合室に患者記入のための意見ノート、入口に意見箱を設置している。
- 受講が必要なセミナーなどは、スタッフ各々が分担して参加する。
- ディーラーから常に新しい情報を提供してもらい、必要があれば取り込んでいる。
- 経営コンサルタントの先生にスタッフ教育をお願いしている。月1回、ベテランの衛生士にお願いして勉強会をしている。
- 日本歯周病学会や日本歯科保存学会等の学会に出席している。日本歯周病学会認定の「岡山歯周病研究会」に参加、定期的な研修をしている。衛生士については、課題を設け、業務以外の時間に院内研修・勉強会を行っている。また、毎年、衛生士研修会に参加している。

- 患者へのインフォームドコンセントに時間をかけ、患者の希望を聞いて、個々の患者に合った診療を行うことにより医療の質を向上させる。
- 新たな知見、考え方の変遷等について、ネット、書籍等あらゆる媒体を通じて知識を得るようになっている。
- 可及的にディスポーザルで対応する。院内感染防止のため、口腔外バキュームを必ず使用し、換気せんを24時間稼働させている。
- カウンセリング能力の向上により患者との信頼関係を築く。

## 調査結果を総括して

今回の「医科・歯科診療所自主点検強化事業」においては、市内全体の実に95%に当たる1,069もの医科・歯科診療所から回答をいただきました。有難うございました。

自主点検による結果は、「2安全管理関係」の項目について、多少不十分な箇所が見受けられたものの、医科・歯科とも概ね良好でした。回答状況については、医科・歯科とも同じような傾向がうかがえます。以下、集計結果を総括して、医科・歯科診療所の今後の自主点検における注意点などについて述べていきます。

### 【1-5】職員の健康管理

医師・歯科医師の定期健診の受診については医科5.8%、歯科13.5%、放射線従事者の6か月に1回の健診受診は医科11.3%、歯科46.0%、5年間の個人票の作成・保存は医科20.7%、歯科42.8%が「できていない」あるいは「あまりできていない」と回答していました。医師・歯科医師自らが率先して健診を受診し、事業所として受診しやすい環境をつくるとともに、従事する職員の健康管理には管理者として留意してください。

### 【1-6】院内掲示

院内掲示について、管理者氏名は医科17.2%、歯科8.6%、医師・歯科医師の氏名は医科14.1%、歯科6.5%、診療時間等は医科8.3%、歯科3.7%が「できていない」と回答していました。医科については、特養・企業医務室等も集計の対象に入っているため高い率になっています。たとえ外部の患者を受け入れない医務室等であっても、診療所であれば院内掲示を義務づけられており、医療を提供する場であると認識してください。具体的な掲示については、「自主点検のポイント」の例示(61ページ)を参照してください。

### 【1-9】医療機能情報の提供

医療機能情報の診療所内における閲覧について、医科29.7%、歯科24.0%が「できていない」と回答していました。この規定は医療法自体に規定されており、国においても非常に重視している内容です。県のホームページ「おかやま医療情報ネット」の公開情報に変更があった場合の手続きに留意するとともに、医療機能情報の内容をプリントアウトして待合・受付などに備えつけるなど、患者等に対し積極的に閲覧に供してください。

### 【2-1】医療に係る安全管理のための体制確保

医療安全管理について、指針の作成は医科30.2%、歯科6.3%、職員研修の実施は医科37.4%、歯科13.7%が「できていない」と回答していました。指針については、「自主点検のポイント」(63ページ)に示す8項目を盛り込み、職員に周知してください。職員研修については、職種横断的に年2回程度実施し、記録に残してください。無床診療所の場合は、外部研修の受講で代用することができます。

### 【2-2】院内感染対策のための体制確保

院内感染対策について、指針の作成は医科27.5%、歯科5.3%、職員研修の実施は医科35.7%、歯科12.1%が「できていない」と回答していました。指針については、「自主点検のポイント」(64ページ)に示す7項目を盛り込み、職員に周知してください。職員研修に

については、職種横断的に年2回程度実施し、記録に残してください。無床診療所の場合は、外部研修の受講で代用することができます。

### 【2-3】医薬品の安全管理体制

医薬品の安全使用について、職員研修の実施は医科 29.1%、歯科 10.5%、手順書の作成は医科 46.3%、歯科 11.9%、業務の確認・記録は医科 45.5%、歯科 20.0%が「できていない」あるいは「あまりできていない」と回答していました。職員研修は必要に応じて実施し、実施内容を記録に残してください。手順書については「自主点検のポイント」（66 ページ）に示す6項目を含め、実施に当たって確認と記録をしてください。

### 【2-4】医療機器の安全使用に関する体制

医療機器の安全使用について、職員研修の実施は医科 27.1%、歯科 6.0%が「できていない」と回答していました。新しい医療機器を導入する際には職員研修を実施し、内容を記録に残してください。

### 【5-3】感染性廃棄物の保管

感染性廃棄物の保管について、取扱い注意事項の表示は医科 15.7%、歯科 11.0%が「できていない」あるいは「あまりできていない」と回答していました。職員は感染性廃棄物の危険性を認識するとともに、取扱いには十分注意してください。具体的な掲示については、「自主点検のポイント」の例示（72 ページ）を参照してください。

### 【6-2】放射線に関する掲示・標識等

放射線障害防止の注意事項の掲示は、医科 9.6%、歯科 11.6%が「できていない」と回答していました。エックス線診療室の出入口付近や操作室等に、患者に対する注意事項と放射線従事者に対する注意事項の両方を掲示してください。具体的な掲示については、「自主点検のポイント」の例示（74 ページ）を参照してください。

### 【6-4】放射線従事者の被ばく防止措置

放射線業務従事者の被ばくの管理は、医科 9.7%、歯科 17.5%が「できていない」あるいは「あまりできていない」と回答していました。業務の際には、エックス線診療室が密閉されている状態か、被ばく防止措置ができていのかどうかなどを日常的に確認するとともに、従事者はフィルムバッジ等により線量測定を定期的に行ってください。

その他の自由回答欄に記載された意見等についても、各診療所の参考になると思われる事例や意見をピックアップしました。診療所の実情に合わせて、検討の際に活用してください。

この結果報告書により、市内の他診療所の現状を認識していただき、今後の自診療所の医療安全や衛生管理を進めていく上での参考にさせていただければ幸いです。

なお、今回の自主点検票の内容については、法令に基づく基準と、法令に基づかないものの保健所が望ましいと考える基準—の大きく2つに分けることができます。医科診療所の点検票では【7】及び【9-2】～【16-1】の部分、歯科診療所の点検票では【7】の部分法令に基づかない基準になります。これらの集計数値等については、今後の参考にしてください。

